

47歳、4児の子育てをしている父親です。常日頃、子ども達には、自分のアイデンティティを大切にしながらも、多様な価値観を受け入れ、心豊かに人生を楽しんでほしいと感じています。

連日の日本人選手達の活躍に心躍ったパリオリンピック。テレビ越しに感じる歓声溢れる白熱した試合を、よりドラマチックに感じたのは、世界中の人々が人流抑制を伴い多くの命を奪ったコロナウイルスの脅威を乗り越えたという喜びが背景にあるのは間違いないと思えます。

無観客だった東京オリンピックを振り返ると、世界中の人達が集うオリンピックを開催できること自体が平和の祭典だと実感します。

日本人選手の顔ぶれも随分変わりました。つい20年前までは日本に帰化した選手も珍しかった。それを考えると、日本も国際色豊かな国になったと実感します。開催国のフランスの選手達を見ていてもそうですが、世界のそれぞれの国が多様な人々に溢れていくのだからと感じます。

皆さんは「DNAの旅」という動画をご存じでしょうか。インターネットで検索すると、この動画の日本語字幕版をご覧いただくことができます。2016年にデンマークの旅行検察会社モモンドが行ったDNA実験の動画で、全世界で2800万人が視聴したと言われていることです。

アメリカ在住の16万人の応募者の中から選ばれた67人の多種多様な人々が、それぞれのアイデンティティを語るインタビューから動画は始まり、登場人物達は誇りをもって自身のアイデンティティを語ります。それと同時に、受け入れがたい隣国のアイデンティティを否定し、それを溢れ、個人の感情

# DNAの旅

## 飯田理一朗

祖先に持つ人が多いかも知れませんが、これもオリンピックの光景を見るたびに、いずれDNAも文化も、時代と共に変わっていくものだと感じます。夏休みに入ってから井宗達先生からお誘いを受け、茶道の稽古に子ども達を連れ行っていきます。稽古の後、車中で子ども達とその日の稽古の様子を振り返ります。お茶室の設えや使われていた茶道具、先生のお話。茶の湯は尊敬と謙譲の精神が息づく世界であり、その精神が子ども達にも向けられていたことを伝えました。

を超えた民族感情の強さを意識するには十分なものでした。インタビューを終えると、唾液の採取によるDNA検査に移ります。そして2週間後、検査結果の報告を受けるために67人は再び集まるのです。ひとりひとり名前を呼ばれて検査結果の報告を受けま

す。報告を受けた人々は揃って、驚きの表情を浮かべます。ドイツを嫌悪し、自身のアイデンティティに誇りを持つイギリス人青年。検査結果は、イギリスを祖先に持つDNAは30%しか保持しておらず、なんとドイツを祖先に持つDNAを5%保持していたのです。また、イラ

ク人青年は検査結果を見て、こう言います。「イスラム教徒のユダヤ人です！」検査を受けた67人も、そして動画を見ている私達も感じているのです。現代社会に溢れる過激な思想は、幻想であり、自身が受け継いでいるルーツを知られば、「純粹

に来たトルコのエルさんが、地理的要因から育まれた日本文化への私の考察を面白がって聞いてくれました。哲学者の和辻哲郎も著書『風土』で、日本文化について地理的要因から述べています。現段階では我が国にはDNA的に100%日本人を

世界的情勢をニュースで見ている、単純な理由だけではなけれども、戦争をはじめとした負の連鎖に、自身の客観性のないルーツを巻き込んでほしくないと感じています。全世界に住む我々人類はホモサピエンスという一つの種族であり、「DNAの旅」の動画でも出てきますが、広義で、いとこ同士です。人間は、異なる文化や背景を持ちながらも同じ地球の上で共に存在できると信じています。子ども達には、このことを忘れずに、互いを理解し尊重し合うことで、平和で豊かな未来を築いていってほしいと願っています。

(原町中)